

記者発表資料
平成27年 1月14日
農林水産部農産園芸環境課
園芸振興班 北奥・曾根 内線2843
環境対策班 相澤 内線2845

平成26年産秋そばの放射性物質測定結果について（最終報）

宮城県内で採取した秋そばについて、放射性物質の測定結果がでましたのでお知らせします。

なお、今回の検査をもちまして、平成26年産秋そばの放射性物質検査が全て終了し、測定した全点の安全性が確認されましたので、県内全域における平成26年産秋そばの出荷、販売は可能となります。

記

1 測定年月日

平成27年 1月9日

2 測定分析機関

一般財団法人日本穀物検定協会
分析機器 ゲルマニウム半導体検出器

3 測定結果

測定した9点において、食品衛生法の規定に基づく放射性物質の基準値（100Bq/kg）を下回り、安全性に問題がないことが確認されました。

この結果、以下の旧市町村で生産された平成26年産秋そばは、通常どおり出荷、販売等が可能となります。

なお、測定結果の詳細については別紙のとおりです。

【今回の検査により、平成26年産秋そばの出荷、販売等が可能となった旧市町村】

現市町村	出荷・販売等が可能となった旧市町村	検査が終了していない旧市町村
栗原市	旧金成村, 旧沢辺村, 旧津久毛村	なし

4 検査状況

(1) 検査実施点数

検査対象点数	検査結果			
	検査済点数	不検出～50Bq/kg以下	50Bq/kg超～100Bq/kg以下	100Bq/kg超過
100	100 (9)	99 (9)	1	0 (0)

※1 検査済点数の()内は、今回の公表分である。

(2) 検査実施市町村数

検査対象 市町村数 (旧市町村)	検査実施 市町村 (旧市町村)	検査未終了 市町村数 (旧市町村数)
25 (61)	25 (61)	0 (0)

※旧市町村は昭和25年時点の旧市町村名を示す。

【測定結果の詳細】

(単位：Bq/kg)

NO	採取場所 市町村名(旧市町村名)	放射性セシウム			食品衛生法の規定に基づく放射性物質の基準値
		セシウム134 (検出下限値)	セシウム137 (検出下限値)	セシウム合計 (検出下限値)	
1	栗原市(旧金成村)	不検出 (3.7)	不検出 (3.8)	不検出 (7.5)	100
2	栗原市(旧金成村)	不検出 (4.1)	不検出 (4.3)	不検出 (8.4)	100
3	栗原市(旧金成村)	不検出 (4.1)	不検出 (3.6)	不検出 (7.7)	100
4	栗原市(旧金成村)	不検出 (4.3)	不検出 (4.0)	不検出 (8.3)	100
5	栗原市(旧沢辺村)	不検出 (4.6)	不検出 (5.2)	不検出 (9.8)	100
6	栗原市(旧沢辺村)	不検出 (4.0)	不検出 (4.2)	不検出 (8.2)	100
7	栗原市(旧沢辺村)	不検出 (3.4)	不検出 (4.1)	不検出 (7.5)	100
8	栗原市(旧津久毛村)	不検出 (4.0)	不検出 (3.5)	不検出 (7.5)	100
9	栗原市(旧津久毛村)	不検出 (3.3)	不検出 (4.3)	不検出 (7.6)	100

※「不検出」とは、放射性物質の濃度が、検出下限値に満たない(検出下限値未満である)ことを示す。

また、「検出下限値」とは、当該測定機器で検出できる放射性物質濃度の最小の値を示し、測定毎に異なる。

【参考】

○秋そばの放射性物質調査に関する基本的な考え方

- (1)平成 25 年産検査の結果，出荷制限指示が解除された旧市町村：旧市町村毎に全戸相当検査（平均作付面積毎に検査点数を設定
- (2)平成 25 年産検査で 50Bq/kg を超える放射性セシウムが検出された旧市町村及びその隣接旧市町村：旧市町村毎に全戸相当検査（平均作付面積毎に検査点数を設定）
- (3)（1）及び（2）の対象区域となる旧市町村以外の地域で平成 25 年産検査において全戸検査密度で検査を行った地域：旧市町村毎に 3 点を検査
- (4)平成 25 年産検査で 50Bq/kg 未満の放射性セシウムが検出された旧市町村：旧市町村毎に 3 点を検査
- (5)その他の旧市町村：旧市町村毎に 1 点を検査

※放射性セシウム濃度が基準値 100Bq/kg を超えた場合は，地域的広がりを確認し，再度基準値を超過した場合に旧市町村単位で出荷制限となる。